

# 福岡市水産業総合計画

平成29年度～平成33年度 [概要版]

豊かな海の再生と  
持続可能な水産業の創生

# 福岡市水産業総合計画の基本的な考え方

## 計画の位置づけ

- (1) 福岡市の水産業振興の総合的な指針とします。
- (2) 国及び福岡県などの水産業振興に関する計画と整合性のあるものとします。
- (3) 福岡市の基本計画の水産業振興に関する部門別計画とします。
- (4) 「博多湾環境保全計画」や「福岡市食育推進計画」など、福岡市の他の部門別計画と連携した計画とします。
- (5) 「ふくおかさん家のうまかもん条例」に関連する施策の推進を図るものとします。

## 計画期間

平成 29 年度から平成 33 年度まで(5 年間)

## 福岡市水産業の現状と課題

### 国内外の情勢

- ・ 漁業生産構造のぜい弱化
- ・ 水産資源状況の悪化
- ・ 「食」に対するニーズ、意識の多様化
- ・ 消費者の魚離れ
- ・ 「和食」の文化遺産化

### 国等の対応状況

- ・ H24. 3 水産基本計画
- ・ H24. 8 魚の国のしあわせプロジェクト開始
- ・ H26. 2 浜の活力再生プランの開始
- ・ H27.11 総合的なTPP関連政策大綱

### 市民意識

- ・ 「魚がおいしいまち福岡」という意識が浸透
- ・ 漁業の食料供給以外の役割として生態系や海洋環境の保全に期待
- ・ 魚食普及教育の推進を重視
- ・ 福岡市水産業の発展を望み、その取り組みとして博多湾の環境保全、若い漁業者の増加、消費拡大、ブランド化を重視

### 漁家意識

- ・ 漁業を続けたいと思っているが、漁業後継者がいない
- ・ 漁場環境の改善(藻場の造成、海底・漂流ごみの回収、底質の改善)が必要と感じている



## 重要な課題

- ① 漁港, 漁場, 共同施設など漁業生産基盤の整備
- ② 生物が生まれ育つ場(海のゆりかご)の環境保全
- ③ 所得の向上と漁協経営の強化充実
- ④ 担い手など人材の育成確保
- ⑤ ライフスタイルに合った魚食普及・地産地消の推進
- ⑥ TPP 関連国内対策への対応

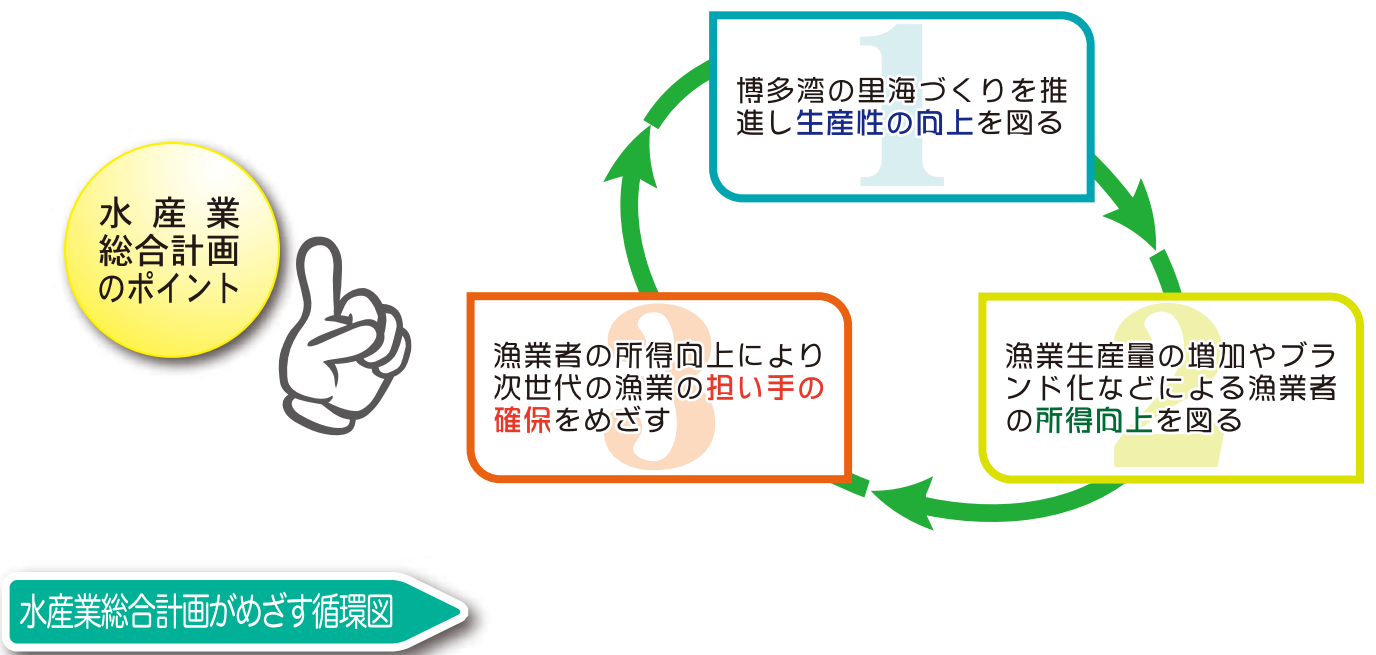
## 漁業地区図



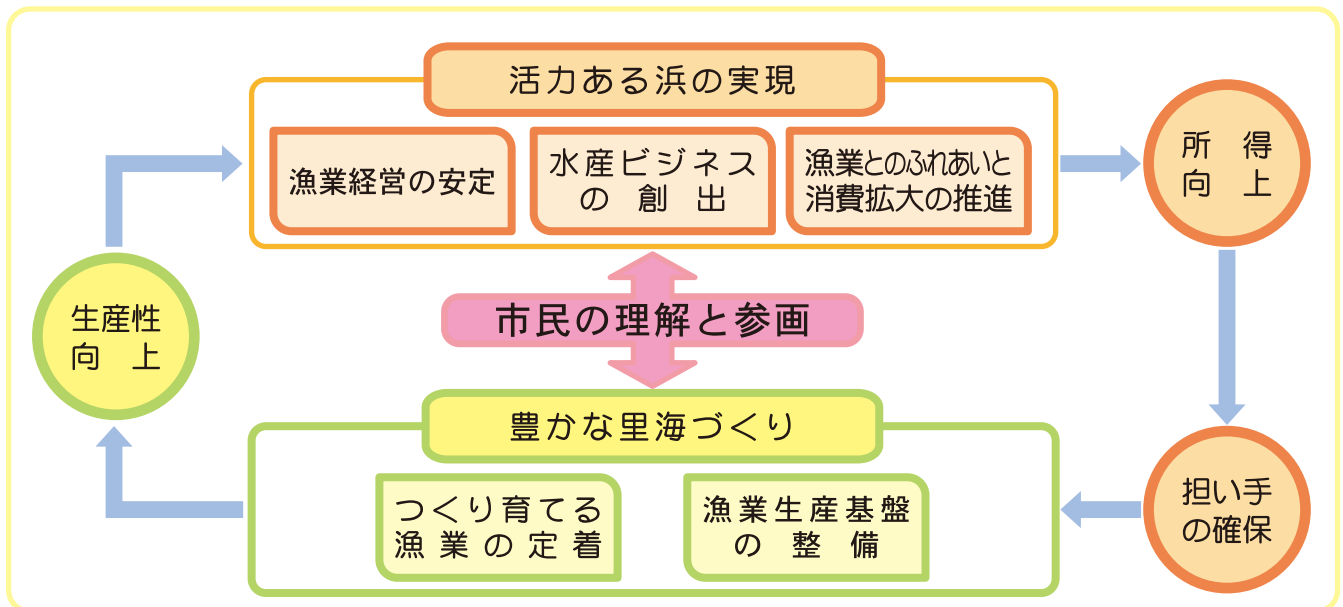
# 豊富な海の再生と持続可能な水産業の創生

福岡市の水産業は、新鮮な水産物を市民に安定的に供給するほかにも、博多湾の環境保全など多面的な機能の発揮により市民の暮らしを支えています。また、「魚がおいしいまち福岡」として都市のイメージを支えており、その魅力を国内外へ発信していく必要があります。福岡市の水産業の役割を維持し、発展させるためには、漁業者が自ら生産性の向上に取り組むとともに、水産業界だけではなく、市民の理解と参画を促進し、「市民と共創する水産業」をめざすことが重要となります。

そこで、今回の計画では「豊富な海の再生と持続可能な水産業の創生」を目標に掲げ、福岡市の水産施策を推進していきます。

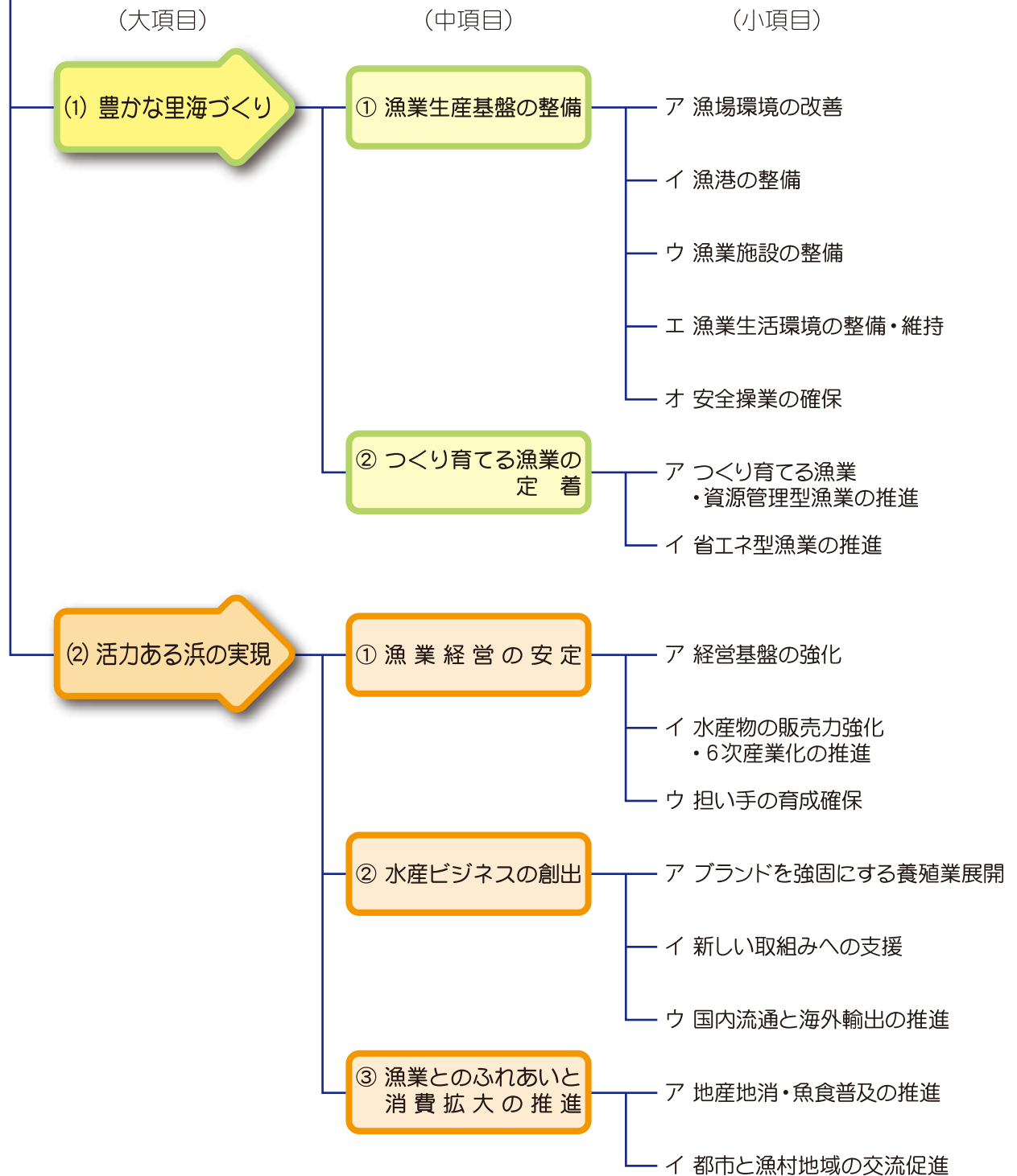


水産業総合計画がめざす循環図



目標

# 豊かな海の再生と持続可能な水産業の創生



生産性の向上にかかる施策  
所得の向上にかかる施策

## (1) 豊かな里海づくり

### ① 漁業生産基盤の整備

#### ア 漁場環境の改善



海底耕うん、微生物を利用した湾内の底質の改善、漁場環境に適した藻場の造成など、生態系の保全に取り組みます。

食害生物の除去を進めるとともに、漁場におけるごみの回収やごみ削減の啓発活動に努めるなど、漁場環境の改善を推進します。

豊かな森のミネラルを多く含んだ水を供給する森林づくり(植林活動)に取り組みます。



#### イ 漁港の整備

漁港施設の維持補修などを実施し、漁業作業の効率化や安全性の向上に努めます。



#### ウ 漁業施設の整備

水産物加工施設や鮮度保持施設など共同施設の設置事業に対して支援します。

#### エ 漁業生活環境の整備・維持

漁業集落の生活環境の改善及び公用水域の水質保全のために設置した下水道処理施設の適切な維持管理に努めます。

#### オ 安全操業の確保

海上保安部などの関係者や福岡市漁協との連携を強化する緊密な連絡体制の構築及び海難事故防止講習会などを通して、漁業の安全操業の確保に努めます。

### ② つくり育てる漁業の定着

#### ア つくり育てる漁業・資源管理型漁業の推進



漁場環境の保全を念頭においた漁場の造成と種苗の放流などを行う「つくり育てる漁業」を推進します。

水産資源の適正な保存と管理を行う資源管理型漁業の推進を図ります。



#### イ 省エネ型漁業の推進

燃油経費が少なく漁業集落の近場でできる漁業や養殖業を推進します。





## (2) 活力ある浜の実現

### ① 漁業経営の安定

#### ア 経営基盤の強化

福岡市漁協の財務や事業の効率化などによる経営基盤強化や漁家経営の収入安定化を図ります。



#### イ 水産物の販売力強化・6次産業化の推進



朝市・夕市などの直販事業を支援します。  
マーケティング拠点施設を活用した商談会による販売活動，情報発信の取組みを支援し，販売ルートの開拓を進めます。  
水産加工会社などとの連携による商品開発や高品質化について研究を進めます。

#### ウ 担い手の育成確保



将来を担う意欲的な人材の就業支援を行うとともに，働きやすい環境づくりなどの支援や，若手漁業者の活発な意見や行動力を生かすための活動を推進します。

### ② 水産ビジネスの創出

#### ア ブランドを強固にする養殖業展開



二枚貝中間育成装置を用いたシングルシード方式によるカキ養殖試験を実施し，周年の生産出荷体制の確立をめざします。  
強力なブランド化に向け，新たな二枚貝水産物などの養殖について検討を行います。



#### イ 新しい取組みへの支援

陸上において産卵から成貝になるまでを完全養殖する「砂ゼロアサリ」の養殖可能性について調査・研究し，高品質で安定的な生産体制，作業工程のマニュアル化により，高齢者や女性などが働きやすい環境づくりなどをめざします。

#### ウ 国内流通と海外輸出の推進



海外への輸出に向けて，現地での需要調査やプロモーション活動を推進します。  
国内市場開拓に向けた食のイベントへの出展を推進します。

### ③ 漁業とのふれあいと消費拡大の推進

#### ア 地産地消・魚食普及の推進



学校給食での地元水産物の利用促進や地元水産物を使った中学校の家庭科調理教室を実施し，地産地消・魚食普及を推進し，水産物の消費拡大を図ります。



#### イ 都市と漁村地域の交流促進

食の安全・安心につながる生産者の顔が見える朝市・夕市など，市民と生産者のふれあいの場を提供します。  
市民に安全で快適な釣りの機会を提供している「海づり公園」の利用者拡大に努めます。

※赤字は特に重点的に取り組む施策です。

# 5年後の数値目標 (抜粋)

## (1) 豊かな里海づくり

(単位:個)

① 藻場造成	基準値(A①)	単年度目標値(B)	(B) - (A①)
種系巻付ブロック設置数	400	440(2,200)	40

(単位:トン)

② アサリの生産	基準値(A②)	平成33年目標値(B)	(B) - (A②)
生産量	56	100	44

※生産地区:能古, 姪浜, 伊崎ほか

平成19年~27年の9か年の内, 悪天候等により生産量が極端に減少した3か年, 最大値を記録した1か年の計4か年を除いた5か年の平均値を基準値とした。

## (2) 活力ある浜の実現

(単位:千円)

① 漁労所得	基準値(A①)	平成33年目標値(B)	(B) - (A①)
漁労所得額(漁家1戸あたり)	2,437	2,680	243

(単位:人)

② 新規就業者	基準値(A②)	単年度目標値(B)	(B) - (A②)
新規就業者数	6	10(50)	4

(単位:トン)

③ 養殖品目の生産量	基準値(A②)	平成33年目標値(B)	(B) - (A②)
ワカメ	90	100	10
ノリ	196	215	19
カキ	76	85	9

※実施箇所:ワカメ(弘・志賀島・箱崎), ノリ(姪浜), カキ(志賀島・能古・唐泊)

(単位:人)

④ 料理教室	基準値(A①)	単年度目標値(B)	(B) - (A①)
受講人数	1,061	2,000(10,000)	939

※対象:中学校

基準値(A①):原則, 平成27年(度)の実績値, または数値。

基準値(A②):原則, 過去5年間〔平成23年(度)~平成27年(度)〕の実績値の最大値と最小値を除いた3か年の平均値目標値で( )内のは累計値〔平成29年(度)~平成33年(度)〕

## 福岡市水産業総合計画

【概要版】発行 平成29年3月

農林水産業・市場シンボルマーク  
「みのりん」



福岡市農林水産局水産部水産振興課

〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号

TEL: 092-711-4364 FAX: 092-733-5557

E-mail: suisanshinko.AFFB@city.fukuoka.lg.jp

農林水産局ホームページ <http://www.city.fukuoka.lg.jp/nousui/>

印刷 高松印刷有限公司

○この冊子は再生紙を使用しています。